



日本めまい平衡医学会

理事長 將積 日出夫 / 前理事長 武田 憲昭



理事長
將積 日出夫



前理事長
武田 憲昭

日本めまい平衡医学会は、「めまい・平衡障害」を対象とした64年の歴史のある学会です。耳鼻咽喉科、脳神経外科、脳神経内科、神経生理学などを専門とする会員から成る学際的な学会です。会員数は約1,950人です。毎年秋に開催される総会・学術講演会では一般演題を重視し、活発な討論を行っています。また、めまい・平衡医学の学術的研究に優れた会員に対する専門会員(Active member)制度と、めまいの臨床の専門的知識と高度の診療技術を持つ会員に対するめまい相談医制度を整備し、その情報をホームページに公開しています。さらに、1年に1回、医師講習会、夏期セミナー、コ・メディカルを対象とした平衡機能検査技術講習会を開催しています。

本学会ではめまい診療の標準化を行っており、めまいの診断基準化のための資料、平衡機能検査法基準化のための資料、平衡訓練の基準をホームページに公開し、改訂を続けています。難病であるメニエール病・遅発性内リンパ水腫診療ガイドライン、良性発作性頭位めまい症診療ガイドライン、前庭神経炎診療ガイドラインを発行しています。また、眼振と異常眼球運動動画ライブラリーや前庭リハビリテーションガイドラインの作成も行っています。

本学会の会員の先生方により、メニエール病の病態である内リンパ水腫画像検査や新規治療法である中耳加圧治療が開発され、臨床応用されています。また、新しい平衡機能検査であるvHIT(ビデオヘッドインパルス検査)とVEMP(前庭誘発筋電位)により、3つの半規管と2つの耳石器の機能を評価できるようになり、診断の精度が向上しています。また本学会では、良性発作性頭位めまい症の病態解明、耳石器機能検査の開発、電気刺激やデバイスを用いた平衡障害の治療法の開発などの国際レベルで質の高い研究を行っています。

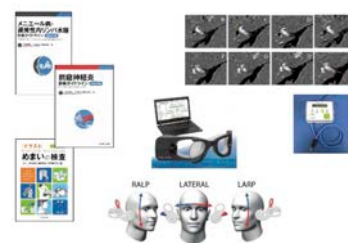
日本ではこれまで、めまい平衡医学の国際学会である Barany Society Meeting を3回、国際姿勢と歩行学会である International Society of Posture and Gait Research を3回、International Symposium on Meniere's Disease and Inner ear Disorders を1回、開催しており、日本のめまい平衡医学の研究が世界で高い評価を受けています。また、Korean Balance Society との交流も行っています。



学会賞の受賞式



「第76回日本めまい平衡医学会」(2017年)では、スキーと平衡をテーマにオリンピックの岡部哲也選手と上村愛子選手をお招きし、学会終了後にスキーを楽しみました。



ガイドライン、ビデオヘッドインパルス検査、中耳加圧治療と内リンパ水腫画像検査